

平成16年度武蔵野市財政援助出資団体経営目標評価シート

団体名		武蔵野市国際交流協会						
①	指標名	「留学生むさしのファミリープログラム」の参加留学生数			目標値	80人	実績値	103人
	過去の実績	平成13年度	平成14年度	平成15年度	達成率	128.8%	達成状況	未実施・未達成・ 達成
	(単位:人)	—	42	62				
	取組内容	※16年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①市内並びに近隣市の各大学の入学説明会・歓迎パーティなどに参加し、積極的にPRを行った。 ②市民の家庭向けに、市報等により、ファミリープログラム参加家庭の募集を行った。 ③MIAの機関誌「Friends」、会員向け「MIAカレンダー」や「ボランティア・ニュース」などで会員の協力を呼びかけた。						
一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ○積極的なPRを行った結果、目標値を達成した。参加留学生だけでなく、受入家庭の申し込みも大幅に増加した。 ○今後は、受入家庭をサポートする体制を強化するなど、人数だけでなく内容も充実させていく。							
二次評価	●留学生むさしのファミリープログラムは、日本人家族が1年間を通し、留学生を家庭に招いたり、電話で話すなど留学生にエールを送りながら自由に交流する事業である。 ●平成16年度は、市報やMIAの機関誌を活用しPRした結果、20ヶ国103名の留学生を89家庭で受け入れ、目標値を大幅に上回った。 ●若い留学生と受入家庭（その家族）との交流という、異文化共生につながるこのような事業が、内容を含め充実されていくことが大切である。							
②	指標名	賛助会員数			目標値	1,080人	実績値	1,086人
	過去の実績	平成13年度	平成14年度	平成15年度	達成率	100.1%	達成状況	未実施・未達成・ 達成
	(単位:人)	590	820	1,060				
	取組内容	※16年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①春、秋2回の会員獲得強化月間を設定し、イベントと連動して市民の理解と賛同を得るよう積極的にPRした。 ②職員や役員が、知人等を勧誘した。						
一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ○積極的なPRにより、賛助会員数の目標は達成した。 ○今後は、事業に参加する賛助会員数を増やす方を検討する必要がある。							
二次評価	●賛助会員1,000人台を確保することが、団体の安定した事業運営及び経営につながる。 ●イベントと連動したPR活動などにより、目標値を上回ることができた。 ●今後は事業に参加したり、協力する会員の増加策が望まれる。							
③	指標名	組織の簡素化・効率化			目標値	嘱託職員の活性化	実績値	経理事務を嘱託職員が担当
	過去の実績	平成13年度	平成14年度	平成15年度	達成率		達成状況	未実施・未達成・ 達成
	(単位:)							
	取組内容	※16年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①平成15年度まで市職員が行っていた経理事務を嘱託職員に担当させた。						
一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ○平成15年度決算事務など年度当初は交流事業課職員のサポートを受けたが、監事等の指導も受けながら、事務局長と嘱託職員で経理事務をこなしたことから、目標を達成したと評価する。							
二次評価	●公益法人等への一般職の地方公務員の派遣等に関する法律の施行に伴い、平成14年度からは市職員を協会に派遣することができなくなった。 ●このため、経理事務を嘱託職員に引き継ぐ必要が生じ、当初の目標値となったものである。 ●市のサポート等を受けながら、特に問題なく経理事務を行うことができた。 ●今後も積極的に研修を受講するなど少数精鋭の職員体制を維持する必要がある。							